小学校理科校内研修支援事業（平成29年度）

実施報告

北斗市立萩野小学校

＊学級数 10　　＊児童数　128

支援員学校名	職名	氏名	専門分野
北海道函館西高等学校	教諭	栃　木　一　晃	生物

【ねらい】　小学校第３学年「太陽と地面の様子」、第４学年「月と星」、第６学年「月と太陽」の単元で、ペーパー日時計や月の観察モデルなどの教材を工夫し、児童１人１人の理解を深めさせることができるよう、観察、実験の指導方法を身に付ける。

【日　時】　11月24日（金）13：30～15：10

【場　所】　萩野小学校理科室

【参加者】　12名

【内　容】・第３学年「太陽と地面の様子」におけるペーパー日時計の作成と活用方法
・第４学年「月と星」におけるカードケースを活用した星座定規及び月の高度計の作成と活用方法
・第６学年「月と太陽」における月の観察モデルの作成と活用方法

【本事業の成果を活用した指導計画の改善】

本校では、支援員から学んだことを踏まえ、実験、観察を効果的に行う教材を作成するとともに、作成した教材の活用を位置付けるなど年間指導計画の改善を行った。

１　第３学年での工夫改善

単元「太陽と地面の様子」で使用するペーパー日時計を作成した。

本教材を活用することで、１人ずつ観測することが可能となり、太陽の１日の動きについてより理解が深まると考えられる。また、季節による影の長さの違い等にも、児童が気付くことができると考えられる。

２　第４学年での工夫改善

単元「月や星の動き」で使用するカードケースを活用した星座定規と月の高度計を作成した。

本教材を活用することで、月や星の学習において児童だけで簡単に観測できるようになるとともに、家庭などでも観測することができることから、児童が主体的に学習することが期待される。

３　第６学年での工夫改善

単元「太陽と月の形」で使用する月の観察モデルを作成した。

本教材を活用することで、児童の理解が難しい月の満ち欠けについて、地球からの視点で考えることが容易になり、太陽と月の位置と月の見え方の関係についての話合い活動を充実させ、児童の理解を深めることができると考えられる。